

FD

プログラム番号 2801C

ルーブリック評価入門 ―考える、つくる、活用する―

■講師



俣野 秀典

(高知大学 総合教育センター 大学教育創造部門 講師)

北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科修了。地域科学研究会・高等教育情報センター研究員を経て、2009年より現職。成績評価をはじめとした教育評価を中心に、FDを含めた“Educational Development”に取り組む。学内外で担当するセミナーでは、「参加したセミナーの中で最も目標達成を意識することができた」「理論的観点から振り返ることができた」「これまでの悩みが一気に解決できた」など、参加者から高評価を受けている。

■プログラム概要

成績評価について、多様な評価基準を設定することが求められています。ある大学の『シラバス入力手順説明書』では、“具体的な評価基準はルーブリック評価シートを事前に配布し、配点30点とする”との例が示されたりしており、「ルーブリックって何??」と戸惑われた教員の方も多いと聞いております。

そこで本プログラムは、成績評価の目的・意義から出発して、高等教育において近年注目が集まっているルーブリック評価についての基本的な考え方を理解することを目的として実施されます。

※ルーブリックとは、「目標に準拠した評価」のための「基準」つくりの方法論であり、評価指標として活用されます。本プログラムでは、学生が何を学習するのかを示す評価規準と学生が学習到達しているレベルを示す具体的な評価基準を示すマトリクスからなる分析的ルーブリックを主に取り上げます。

■主な受講対象

目標に準拠した評価方法を習得したい教員

■本プログラムの到達目標

1. 目標に準拠した評価を心がけることができる
2. ルーブリック評価の意義を説明できる
3. ルーブリックを授業で活用するための準備ができる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成26年8月28日(木)10:00~12:00

会 場 : 高知大学 朝倉キャンパス 共通教育1号館 141番教室

定 員 : 40名